

春の火災予防運動



住宅火災を防止しましょう！

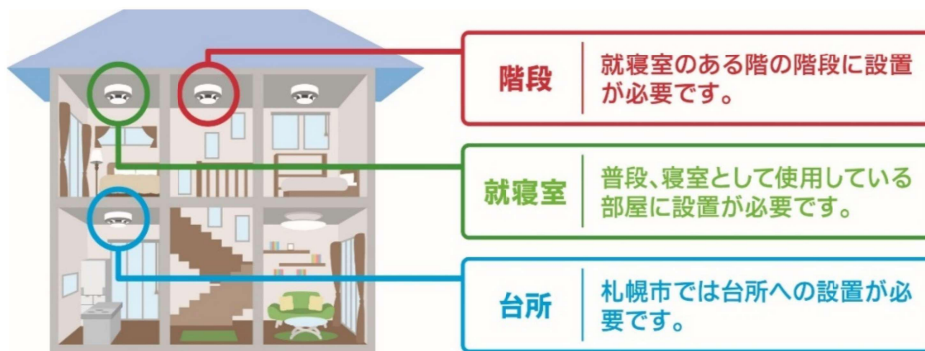
幅広い世代において「こんろ」「たばこ」「電気関係」の火災が多発していますので、皆さんが火災を起こさないように意識することが重要です。また、春先は空気が乾燥し、風が強いため、火災は急速に拡大してしまいます。ごみ焼き、たばこの投げ捨ては、絶対にやめましょう。



火災の被害を防ぎましょう！

火災は、あなたの大切な人や財産を一瞬で奪います。次の対策が有効です。

●住宅用火災警報器を設置しましょう！



※10年を目安に交換が推奨されています。

住宅用火災警報器の「連動型」がさらに効果的です。

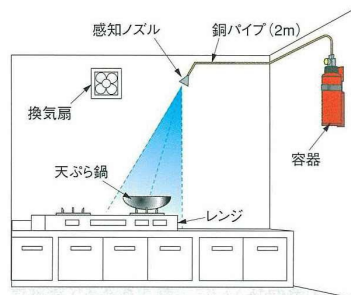
「連動型」は、火災を感知すると全ての感知器に伝達して音が鳴るため、火災発生場所にいなくても火災の発生を知ることができます！

●消火器または自動消火装置を設置しましょう！

【レンジフード設置型】



【壁面設置型】



【天井設置型】



札幌市消防局
自動消火装置助成事業

～

市内居住の65歳以上の高齢者のみで構成される世帯を対象に、1世帯につき2台まで、購入・設置に要した費用の最大28,700円を助成します。

自主チェックシート
ご家庭に火災危険がないか点検しましょう。

火災危険		点検内容	チェック
こ ん ろ	<ul style="list-style-type: none"> ・火をつけたこんろを放置し発火する。 ・こんろ周りの物に燃え移る。 ・こんろ周りの油汚れなどに引火する。 ・こんろの熱で壁内が燃える。 	火をつけたまま、その場を離れていないか。	
		こんろ周りにタオルなどの燃えやすい物が置かれていないか。	
		こんろ周りは清掃し、油汚れなどが付着していないか。	
		こんろの火が壁に接触していないか。	
電 気	<ul style="list-style-type: none"> ・電源コードのショート（短絡）や過熱により発火する。 ・トラッキングや接触不良によりコンセントから出火する。 ・スマートフォンやモバイルバッテリー内のリチウムイオン電池がショート（短絡）し、発火する。 	電気コードを物の下敷きにしていないか。	
		電気コードを束ねたまま使用していないか。	
		コンセントやプラグにほこりが溜まっていないか。	
		機器に落下などの衝撃を与えたり、内部に水が入っていないか。	
		充電中に電池が膨らむ、高温になるなどの異常はないか	
た ば こ	<ul style="list-style-type: none"> ・たばこの火種がごみに着火し火災になる。 ・たばこの火種が落下し火災になる。 ・たばこの火種が枯草などに着火し、周囲に燃え広がる。 	灰皿のたばこは水に浸してから捨てているか。	
		灰皿にたばこを溜めていないか。	
		寝たばこ、歩きたばこをしていないか。	
		たばこの吸殻をポイ捨てしていないか。	

※ 火災の実験映像は、右記二次元コードからご確認いただけます。

【お問合せ先】 札幌市中央消防署予防課 札幌市中央区南4条西10丁目 Tel 011-215-2120

